

# チャイナ・プラス・ワン に負けない キャリア・プラス・ワン

reported by 松本博明  
(キャリアインテグレーション代表)



香港で営業活動中の筆者

## 東南アジアに進出する企業が 求める人材とは？

弊社が東南アジアでの転職支援サービスを始めたのは2008年である。きっかけは広東省の惠州にある日系精密部品メーカーが、ベトナム・ハノイ近郊に進出するので、日本人工場長を探して欲しいと求人依頼をいただいたことだった。当時はキャノンやブラザーが相次いでベトナム進出しており、それを追うようにして下請けメーカーがベトナムに進出していった。ベトナムでの求人傾向と

しては、このような製造業ニーズに基づく、工場関連職やセールス関連の求人が顕著である。またこのようなチャイナ経由でベトナムへ進出した日系企業の特徴として、中間管理職に中国人を配置しているケースも少なくない。これはベトナム人幹部が育成できていない善処策だと思われる。そういうことからチャイナで経験を積んだ日本人工場管理者であつても、チャイナで培った免疫をそ

のまま活かして働くことができるとも言えるであろう。ただ1つ触れておきたい点は、東南アジアにおけるローカルスタッフの共通言語は英語となる。

工場技術者であれば通訳がつくので言葉に対するハンディキャップは感じないが、セールス関連職等になるとやはり英語が言葉のツールとなる。

最近チャイナや香港で働く日本人若手の中にも、英語をブラッシュアップするために、東南アジア担当のポジションを自ら志願したりして、チャイナ・プラス・ワンの波に備えている人材も増えている。

だから拙稿のタイトルも、「チャイナ・プラス・ワンに負けないキャリア・プラス・ワン」と名づけた。自ら積極的に、来るべき時代の変化の波に乗れるかどうか、より一層大切になると思うからだ。

次回以降はインドネシア、タイ、ベトナムなど、それぞれのエリアの生活環境や求人事例、福利厚生などにスポットあてていきたい。

### 今月のキャリア・プラス・ワン

candidate

日本人男性  
(51歳/広東省惠州市)  
海外勤務経験：有り

業種：大手日系デレクトロニクスメーカー  
(エレクトロニクスデバイス)  
職種：品質保証  
勤務地：広東省惠州市  
年収：400万円\*現地採用

日系プラスチックレンズメーカー  
(ラステック加工)  
品質保証  
広東省東莞市  
500万円\*本社採用

今月出会った“一職一句”

職種もマッチ、業種もマッチ、これで不合格あるはずない